

ぶらーな

山形市男女共同参画情報紙

PLANA
サンスクリット語で
命・息吹・息づかいの意味

vol.
29
September
2006

ぶらーな

vol.29

2006年9月発行(年2回発行)

●山形市企画調整部男女共同参画課

山形市旅籠町二丁目3番25号

☎023-641-1212

内線582

e-mail danryo@city.yamagata.yamagata.jp

■ 会社訪問

働き続けるほうが自然でした ▶ 2

株式会社 荘内銀行

■ 地域でいきいき

みんなが安心して暮らせる社会へ ▶ 3

山形県リハビリセンター

■ 特集

子育て応援します ▶ 4-6

子育てって、誰がしますか?

■ DV(ドメスティック・バイオレンス)

ひとりで悩んでいませんか? ▶ 7

■ Information ▶ 8

Information

平成18年度 山形市男女共同参画 講師派遣事業

～企業内研修等に活用してみませんか?～



募集!

1 内容

この事業は、企業や事業所などで実施される男女共同参画に関する講演・研修会等に対し、講師等の派遣を行います。

2 対象事業

次のような男女共同参画に資する学習会等で、市内で実施されるものを対象とします。
● 人権の尊重と男女平等に関するもの
● あらゆる分野への男女共同参画推進に関するもの
● 働く男女のパートナーシップに関するもの
● 健康づくりと自立に関するもの などです。

3 対象外事業

営利目的や政治活動または宗教活動を目的とする事業および国、県もしくは市からの助成を受ける事業は対象となりません。

4 派遣経費

講師派遣1回あたりの講師謝金は、15,000円を限度とします。

5 申込み

所定の用紙に必要事項を記入し、山形市男女共同参画課まで提出してください。(原則として学習会等開催の2ヶ月前まで提出願います。)

6 問い合わせ

山形市企画調整部男女共同参画課へ
〒990-8540
山形市旅籠町 2-3-25
TEL.023-641-1212 内線 582
FAX.023-641-1908

ご応募をお待ちしております。

編集協力員紹介

今号から「ぶらーな」の編集を手伝っていただく方をご紹介します。

はじめまして、小川幾代です。協力員の仕事を通じて悩みをかかえる人の解決に少しでも役立てたらいいなあ。と思っています。よろしくお願いします。



小川幾代

編集後記

The Editor's Comment

男女共同参画社会の実現にとって「子育て支援」はとても大切です。数多くの課題が山づみですが粘り強く解決していきたいものです。

「子育て」は苦勞もありますが喜びも与えてくれます。リハビリセンターに入所している杉本さんの「親孝行したいです。私のために両親はたくさん苦勞したので…」という親への思いに心が打たれました。

編集協力員

伊藤裕美子 布施木洋子 小川幾代

●「ぶらーな」は、ここで配布しています。
市役所(1階刊行物コーナー・市民課待合フロア・5階男女共同参画課)、霞城セントラル(生活情報センター・保健センター・市民活動支援センター)、市の公民館、市立図書館、男女共同参画センター「ファースト」

●「ぶらーな」は、インターネットでも見ることができます。(山形市HPのダウンロードのページをご覧ください。)

●「ぶらーな」を読んだご感想・ご意見などありましたら、どしどしお寄せください。お待ちしております。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。